

「ぬくもりを届けたい、手から心へ」.....

たまちゃん通信

平成 27 年 12 月発行 72-3

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号

TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311

e-mail:honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

篠田啓子さん(飯田市)が韓国に「お手玉」贈る

～韓国国立民族博物館から「受領証書」が届く～

信州おしなごの会会長の篠田啓子さん(長野県飯田市)に、このほど、韓国国立民族博物館(韓国ソウル市)から、「資料(お手玉)受贈証書」が送られてきました。

これは、篠田さんが、平成 27 年 2 月 3 日、同博物館に寄贈した、おしなご(お手玉)17 件 50 点の受領証明と返礼の証書です。

(写真：韓国国立民族博物館：同館HPから)

篠田さんは、アジア民族造形文化研究の金子量重(-かずしげ)所長と長年の交流があり、金子所長が、同博物館に、日本の郷土玩具を寄贈するにあたって、篠田さんに、おしなご寄贈のご紹介があつて実現したものです。

篠田さんが寄贈したおしなごは、自作の飯田の名物市田柿の「干し柿型」をはじめ、飯田名産の絹巻水引を使った「結びおしなごりんりんコスモス」、「福しゃもじ」などです。(この水引作品は、商標・意匠登録済みです)

金子所長は、日本の民俗学の草創者で、『遠野物語』の作者として知られる柳田国男氏に師事し、「研究者は時代の変容に添い、新しい学問を興せ」との指導を受け、それを実践しておられる方です。

その金子先生は、日ごろから、篠田さんのことを次のように評価しています。

「篠田さんは、柳田先生のご出身地のことにも精通しているし、手仕事で飯田の名物干し柿を布でおしなごに縫ったり、水引を材料にしておしなごや遊び道具を作つたり、知恵のあるやり方で素晴らしい仕事をしておられます」

(写真：左・韓国国立博物館から送られてきた「資料受贈証書」と、右・寄贈したお手玉の一つ干し柿型お手玉)

